



「中国5県地域包括ケア推進セミナー」

1/30
(月)

暮らし輝く 地域づくりに向けて ～△は〇になる～

倉敷市第1層生活支援コーディネーター
倉敷市社会福祉協議会 松岡 武司



1. 倉敷市での地域づくりの特徴



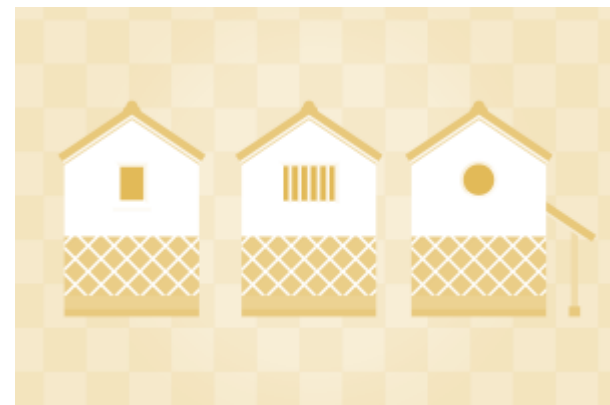
倉敷市の概要



人口：478,570人（令和4年9月末日現在）
世帯数：218,097世帯
高齢化率：27.8%（小学校区63か所：15%～50%）



1. 倉敷市の地域づくりで 大切にしていること



元気な地域をつなぐ専門職
生活支援コーディネーター

私たちは
「お節介」と「安請け合い」で
元気な地域づくりを
ぼっけえ応援する職員です！

情報を広く
詳しく発信！

「したい」
「できる」を
活躍へ

居場所づくり
作戦会議の場
を応援！



地域づくりに必要なつなぐ機能

人と場をつなぐ

人と活躍の場をつなぐ

人と支援をつなぐ

情報をつなぐ

人と人をつなぐ

目指すのは
「つなぐ
専門職」

意識をつなぐ・こころをつなぐ



倉敷のつながり・支え合い事例集



あなたの居場所 見つけませんか？

暮らしき「**通いの場**」ガイドブック

一人が集まる、笑顔が見えるー

支え合い活動事例集

暮らし輝の支え合い

元気な地域づくりのヒントを満載 支え合いのある暮らし

暮らしき通いの場ガイドブック

暮らしき 暮らしき 暮らしき

毎日がかようび ~通う日~

あなたの暮らしのすくそばに

地域共生ガイドブック

参画はえん

地域みんなでまろうと参画
・地域で共に生きる活動事例を紹介
・生活に役立つ「参加型」の情報満載

☆倉敷市の「通いの場」情報満載
☆「通いの場」を地域につく
☆「通いの場」を地域につく

支え合いにあふれる事例集7部作はこちらから

被災地発 支え合い活動事例集 支え合う倉敷 つながり合う真美

豪雨ニモマケズ

豪雨ニモマケズ

見える化 魅せる化 実る化

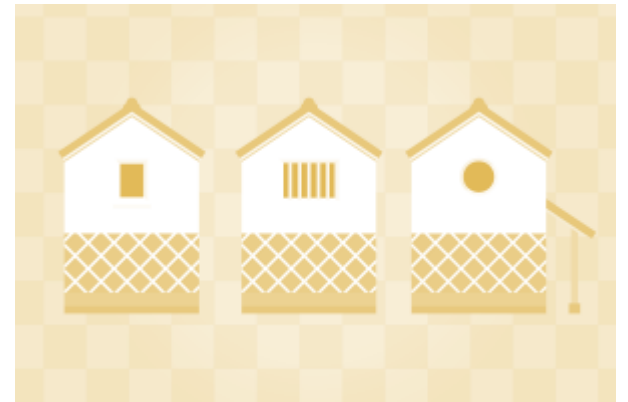
笑うまちには福来る

地域支え合い活動事例集 第8版

日本地区の事例を紹介
○支え合いのヒントがここにある

支え合いと元気な地域のヒートが創えていき 目指すまちの姿が見えてくる

2. 通いの場から地域とつながる



「通いの場」ってどんなもの？

通いの場

- ・サロン・カフェ・集いの場・ラジオ体操
- ・レクリエーション・スポーツ・習いごと
- ・カラオケ・公園・ごみステーション・井戸端会議
- ・友達の家・畑・イベント・サークル・魚釣り
- ・安全パトロール・ボランティア・食事会・お祭り
- ・おすそわけ・あいさつ・手紙のやりとり 等々

- ・二人からでも
- ・メニューが無くても
- ・拠点が無くても
- ・お酒飲んでも

人が出会って、元気と笑顔
が生まれるものはすべて
「通いの場」

それならもう
やってるよ！

こんな集まりで
よかったの！？



倉敷市の体制整備は「通いの場」を基軸に

(通いの場に向けた具体的な支援)

支援項目	具体的な手法
取材・調査	・ 情報把握・リスト作成
情報発信	・ ガイドブックの作成・通いの場一覧表電子版の更新
マッチング	・ 相談支援 ・ 参加希望者と場へのマッチング
立ち上げ支援	・ 作戦会議へ参加等
運営支援	・ サロン交流会・情報交換会 ・ 助成金・運営メニュー等の相談
意識啓発	・ 支え合いのまちづくりフォーラム 等



内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
個人・団体が実施する『通いの場』	430	499	600	705	771	840
うち補助金対象サロン	160	223	263	275	290	288

日常の居場所が無理なくつなぐ





「通いの場」で通うもの

活躍の場

STEP 4

地域にあたたかい血が通う
「支え合いのある地域」

居場所
生きがい

STEP 3

支え合いの意識が通う
「お互いさまの意識」

STEP 2

情報が通う
「暮らしぶりの把握」

STEP 1

自分の足で通う
「社会参加」

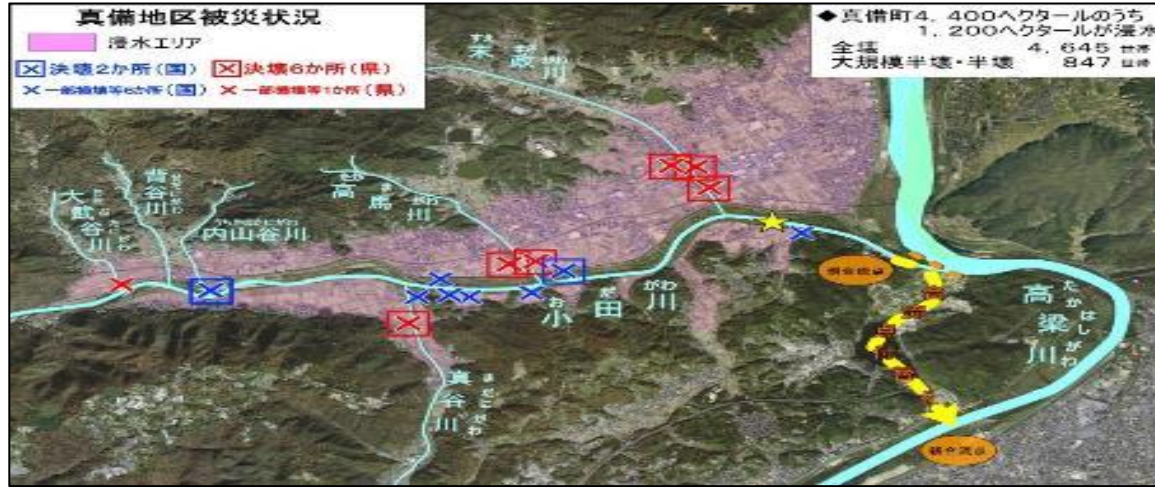
通いの場で
かようもの



3. 被災地でつながる



平成30年7月豪雨災害 倉敷市真備町住み慣れた地域が一変



倉敷市の被害の概要

死亡者 59人(うち災害関連死7人)

住宅被害 5,977棟(全壊・半壊・一部損壊等)

※平成30年7月豪雨災害対応検証報告書(倉敷市)より引用

真備町内の4分の1が被害

最大5メートルの浸水



あなたが
「あなたらしく」
いられる場所は
どこですか？



自分の
役割

落ち着く
自宅



癒し



思い出



マイペース
な暮らし

なじみの
関係性

気どころ
知れた
仲間

いつもの
居場所

住み慣れた地域

日ごろからの「通い」が救った命・紡ぐ復興

川の決壊直前にひとり暮らしの高齢者を救った町内会長とまちの取り組み

- 服部地区でもともと作成した「見守り・支え合い調査票」を活用

発災から2週間で集う 4週間で学区をあげての集いを開催

- 頑張ろう呉妹の開催「住民しかできない発想と行動」

「被災者」である地域住民が
「支援者」として復旧支援。

- 一番に片づけた場所は調理室「そこから踏み出すまちの復興」



災害を通して得た3要素はこれからの地域づくりの推進力

1

愛情

「このまちで暮らしたい、このまちを守りたい」
「わがまち」に「わがごと」意識が芽生えたとき、愛情あふれる地域づくりの第一歩を踏み出します。

2

危機意識

大きな被害を受けた経験と教訓は、必ずこれからの防災意識や日頃からのつながりづくりに活かされます。

3

きっかけ

一人ひとりの「意識」が地域の支え合い活動へ広がるために
一歩を踏み出す「きっかけ」を倉敷市は手にしています。

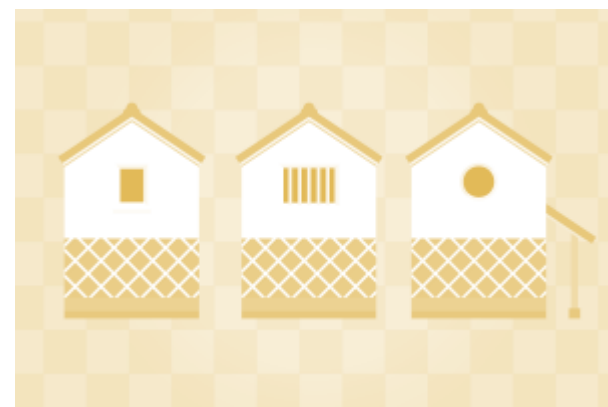
つながり

なじみの
関係性

培ってきた
文化

・ **地域愛**
・ **支え合い意識**

4. コロナ禍でもつながる



4月30日 (木)

書き方
見本

氏名：松岡 武司

わたしの近況

元気です 変わりなし 体調不良 ()
さみしい ※該当する項目にチェックを入れて下さい
 【自由記入欄】サロンがしばらく開催できていないので、少し寂しいです。先週の土曜日に庭先にテントを設営して、家族で自宅キャンプを楽しみました。思った以上に楽しめました。早く、サロンが再開し、皆さんの変わらぬ笑顔に会えるのを楽しみにしています。

暮らしの
ひと工夫

家にいる時間が増えたので自宅で手づくりマスクづくりに挑戦中。ついつい作りすぎちゃったので、欲しい方はご一報ください♪

気になること
心配なこと

いつもサロンに来ていた松本のおじいちゃん。一人暮らしで、「腰が痛い」って言っていたけど大丈夫かしら？何か私たちでできることはないかな？

※上の近況等を読んだ感想を正の字で書いていきましょう。

みんなの
反応

すばらしい!

正

楽しい!

下

びっくり!

—

残念..

心配..

T

お返事記入欄

・自宅でキャンプ楽しそう！落ち着いたら外でみんなでごはんを食べるイベントをしたいですね。(山本)
 ・心配してくれてありがとう。体調は相変わらずだけど、腰が痛いから買い物を代わりにしてくれる人がいてくれたら助かるなあ。マスク分けてもらえると嬉しい。(松本)

倉敷市の実践

—コロナで切れないココとトコロ（居場所）—

つながり・安心 → 増すマスクプロジェクト イメージ

（写真）

1. マスクづくりに
必要な素材等の
提供受付



2. 手作りマスク
の作成



生活支援コーディネーターが
つながります！



※生活支援コーディネーター左から：松本、水野、山本、松岡、阪本

3. マスクバンクへ提供

5. マスクの提供と
有効活用



4. 手作りマスク
で見守り活動



互いに
近所で
助け合う

ごきんじよ 互近助パントリープロジェクト のながれ

4 相談・支援機関との連携

- ・生活困窮者支援機関・保健所・教育機関
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・子育て拠点等



倉敷市社会福祉協議会
生活支援コーディネーター



食材・生活雑貨の提供を募集

- ・スーパー・商店街・企業・農家・個人等



食材
生活雑貨の提供
募集

拠点づくり



パントリーボックス

緊急一時的な食材等の提供
相談・支援のネットワークの
構築の入り口に



困りごとを
抱えた人
孤立しがちな人



2 パントリーサポーターの募集

- ・相談支援機関・社会福祉法人・子育て拠点
- ・地域の見守り役・通いの場等

社会福祉法人

個人・グループ

子育てセンター



活用方法は
地域によって
様々!

3 支援物品を活用した支え合い

- ・食材や生活雑貨の提供を通じた見守りと相談
- ・食材を活用したこども食堂・地域食堂の開催
- ・学事品のお譲り会等

こども食堂



活動創出

倉敷市の実践

—コロナで切れないココロとトコロ (居場所)—

地域に広がる互近助パントリー

集まっています！

450を超える個人・企業・団体が支援物品を提供。

(令和5年1月現在)



広がっています！

パントリーの支援物品を活用した支え合い活動

困りごと支援



子ども食堂・地域食堂



子育て支援



地域交流



増えています！

市内86か所に互近助パントリーを設置

(令和5年1月現在)

真備地区
6か所

船穂地区
3か所

倉敷地区
29か所

玉島地区
16か所

水島地区
18か所

児島地区
14か所



「新しい生活様式」と「地域らしいつながり様式」

共生型の
場づくり

新しい
担い方を提案

新たな担い手
との出会い

通いの場の
機能強化

身近な相談
情報が通う場

地域食堂
6→18

【パントリーサポーターの種別】

種別	設置数
障がい者（児）支援団体	10
子ども食堂・地域食堂	11
社会福祉法人	7
地域交流拠点	13
学校・子育て支援拠点	9
個人ボランティア	10
ボランティアグループ	16
地区社協・地区社協有志	4
駄菓子屋・喫茶店	2
フードシェアハウス	1
法律相談所	1
障がい当事者団体	1
被災地支援団体	1
合計	86

プロジェクトスタートから **2年**
互近助（第3層圏域）の
作戦会議（協議体）と
支え合い活動が
86 か所できました。

相談支援機関
との連携強化

学区単位の
話し合い
活性化

【79か所の支え合い活動】

種別	設置数
随時相談・対応	30
既存の活動での相談支援	19
フードシェア等イベント	17
子ども食堂・地域食堂	13
見守り・訪問型	7
合計	86

地域での支え
合いの循環



気づき・気配りのプロ
地域との協働



「本音」がこぼれる
「場」づくりと
「本音」をこぼさない
「受皿」づくり



支援とつながりのプロ
多機関との協働

住み慣れた地域から吸い上げる元気

吸い上げる力が
衰えた人

木と土の出会いを応援
「社会参加」
元気な木を増やす
「介護予防」
やさしい土を耕す
「生活支援」

地域に根を張れて
いない人

住み慣れた地域

・安心感・居心地・居場所・気配り・声かけ・役割・日常・健康・情報など

暮らしに「き」がつく「くらしき」

